

指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】 令和 7年度

1 総則

指定管理者	シンコースポーツ株式会社
事業期間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月 31日
管理体制	職員 4名 ・総括責任者 1名 ・職員 3名 (内2名 図書司書 有資格者) 臨時 ・1階事務室 6名 ・2階図書室 7名 (内3名 図書司書 有資格者) ・清掃 7名 ・警備員 2名 (外部委託) ・舞台技術管理常駐者 1名 (外部委託) ・設備環境衛生管理技術者 1名 (外部委託) ・電気主任 1名 (外部委託)
職員の勤務状況	職員 ・シフト制 (2交代制) 臨時 ・シフト制 (時間勤務)

2 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	貸館業務 午前8時45分～午後9時 図書業務 1) 午前9時～午後9時	条例・規則、協定書に基づき実施(休館日については、木曜日が祝日にあたるその翌日を休館のところ、開館する)。	木曜日が祝日の場合、開館し、翌日も通常開館。
	受付・案内	施設の管理運営に支障がないように配慮するとともに、利用者の要望に応えられる体制とする。	施設の管理運営に支障がないように配慮するとともに、利用者の要望に応えられる体制とする。	フリースペース、図書室自習コーナーに無料Wi-Fiを設置。 ホワイエにコインロッカー(無料)設置 FMスタジオを授乳室として提供。
	料金設定	条例・規則により規定	条例・規則により規定	条例・規則により規定
	広報・宣伝	チラシ等を作成して近隣施設に配布し利用促進、類似する公共施設のポスター掲示やPRの相互協力等 管理運営業務仕様書に示された内容。	チラシ等を作成して近隣施設に配布し利用促進、類似する公共施設のポスター掲示やPRの相互協力等 管理運営業務仕様書に示された内容。	京阪沿線6市の文化施設と京阪電鉄並びに弊社管理施設にてチラシやポスターの掲示。 また、ホームページにも掲載。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
施設維持管理業務	清掃・保守点検	基本協定書(以下「協定書」と記載)及び管理運営業務仕様書(以下「仕様書」と記載)に示された内容。	仕様書に基づき実施。点検の結果、修繕を要するものは市と協議し、施設の適切な維持管理に努めた。	業務仕様書のとおり実施した。大規模修繕を要するものは市に報告し、適切な維持管理に努めた。
	修繕	協定書及び仕様書に示された内容。	13件 3,744,560円	前年度に続き、空調機器関連による修繕工事を中心に実施。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
施設利用等許可業務	利用者数	仕様書に特に規定なし	ホール 88,431名 リハーサル室 23,236名 楽屋(1) 31,220名 楽屋(2) 21,619名 楽屋(3) 21,097名 楽屋(4) 14,249名 和室(地階) 9,557名 研修室 24,176名 会議室(1) 10,959名 会議室(2) 11,610名 和室(3階) 3,620名 工芸室 8,082名 音楽室(1) 5,884名 音楽室(2) 7,194名 音楽室(3) 9,454名 ギャラリー 8,718名 合 計 299,106名	ホール利用人数が昨年より約5,000人増。和室や音楽室の人数が減り合計としては下がる結果となった。
			貸出人数 22,785名 貸出冊数 66,602冊 視聴覚資料 39名	貸出冊数は約7,000冊、人数は約2,000人が昨年度より増。視聴覚閲覧は-51人となった。
	利用料金	(予算)39,845,000-	(実績)39,939,888-	予算同様の金額となった。
	利用率	仕様書に特に規定なし	ホール 69.86% リハーサル室 80.85% 楽屋(1) 51.42% 楽屋(2) 42.55% 楽屋(3) 43.97% 楽屋(4) 17.73% 和室(地階) 46.81% 研修室 75.89% 会議室(1) 76.24% 会議室(2) 73.40% 和室(3階) 69.50% 工芸室 67.73% 音楽室(1) 35.11% 音楽室(2) 36.17% 音楽室(3) 28.37% ギャラリー 30.14% 合 計 52.86%	ホール10%増。和室や音楽室での利用が減ったため昨年度より約1%減となった

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業	文化教室	生涯学習支援事業	ジャズダンス教室 96回673名 バレエエクササイズ教室 90回1,545名 陶芸教室 97回656名 フラダンス教室 24回127名 音楽ソルフェージュ教室 20回227名 箏曲教室 50回168名 生活筋力ゆっくりプログラム教室 21回88名	バレエエクササイズ教室は、回数が増え300名増。音楽ソルフェージュ教室は、回数は減ったが人数は約40名増。その他の教室は昨年同様となり、新規教室「生活筋力ゆっくりプログラム」を追加。
	・ピアノレッスンパック ・ピアノリレーコンサート ・和楽器演奏集団独奏公演 ・教室発表会 ・昭和歌謡コンサート ・写経教室	生涯学習支援事業	・ピアノレッスンパック97件 ・ピアノリレーコンサート48組 ・独奏 420名 ・文化教室発表会130名 ・陶芸展示会3日間190名 ・昭和歌謡コンサート436名 ・写経教室71名	ピアノレッスンパックはホール利用増加に伴い開催可能数が減少。新たに昭和歌謡コンサートと写経教室を実施し、共に満員御礼となった。
	・春の文セ ・市民健康講座 ・図書室ヘルスインフォメーション ・図書室 特集コーナー	健康福祉推進事業	・春の文セ270名 ・市民健康講座620名	春の文セでは、外部団体と協働し健康測定を実施。同時開催でリサイクル市。市民健康講座は関西医科大学総合医療センター医師による講演会を2度実施。
	・よみきかせ会 ・大型絵本と飛び出すえほんの閲覧 ・季節飾り ・クリスマスよみきかせ会	子ども未来支援事業	・よみきかせ13日109名 ・季節飾り:七夕 他	よみきかせは子どもが多く集まる土日・祝日を中心に開催。また季節飾りの七夕では多くの子どもたちに短冊にお願い事を書いていただいた。
	・守口市だんじり祭り ・守口市地域安全大会 ・フードロス問題への取組 ・文化スポーツ情報コーナー・サークルラウンジの設置	市民協働事業	・フードドライブの実施 ・サークルラウンジの設置	守口警察署と協働しホールにて地域安全大会を実施。守口市だんじり祭りは協賛事業として参加。
	・Wi-Fi設置 ・情報コーナー拡充 ・ヘルストロン設置 ・自動販売機設置 ・図書室ひざ掛け提供 ・図書室バッグ提供 ・ホールサービス ・傘貸出	その他事業	・無料Wi-Fi2台設置 ・情報コーナーラック増設 ・ヘルストロン3台 ・自動販売機3台 ・ひざ掛け5枚 ・貸出用エコバッグ10個 ・ホールサービス提供としてスタッフ増員とピアノ調律	市民の声として多かったWi-Fiの設置を継続、貸出用のエコバッグやビニール傘を設置しサービスの拡充を実施。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
その他業務	職員研修	仕様書に基づき、各種研修の実施。	・消防訓練 ・コンプライアンス研修 ・業務研修 ・メンタルヘルス研修 他	今年度はハラスメントやフリーランス保護法に関する研修を実施。また、自分でできるメンタルヘルスケア研修を実施。
	個人情報保護	定書及び仕様書に基づき、個人情報保護に適切な管理を行うために必要な措置を講じる。	令和7年度個人情報保護研修	情報漏洩を未然に防ぐにはというテーマにてディスカッションと個人情報研修を実施。
	情報公開	協定書及び仕様書に基づき、情報の公開について必要な措置を講じる。	分かりやすく親切丁寧な対応を目指し、提供した。	空き状況や自主事業イベントを多くの方に提供できるよう、広報誌・ホームページ並びにチラシ配付を行い多くの方にご来館いただいた。
	事故等への対応	適切な措置を講じ、委員会、関係機関に通報	数件救急車要請はあり、一次救命処置対応。	防火管理者2名による消防訓練とLive119についての説明。実際の救急時は責任者指示のもと各スタッフが対応できた。

事業達成度評価 コメント	事業達成度評価
守口文化センター2期目の運営となりサービスの拡充を目指しました。Wi-Fi設置を継続、図書室では貸出用エコバッグを設置し、1階受付では傘の貸出を開始しました。フードロス問題への取り組みでは、明治安田生命保険相互会社様と連携し、想定よりも多くの食品等をお持ちいただくことができた。貸館については昨年度より利用者人数減、稼働率(日数)としては昨年度より1%減となった。ただ、ホール利用は10%増となった。また、利用キャンセルが多く見受けられた。 図書室は貸し出し人数・冊数共に昨年度より多くなった。 守口市民でも初めて来られる方が多く見受けられた。次年度も多くの方にご来館・ご利用いただけるよう広報につなげたい。	A

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果	項目	協定事項等	分析
	実施方法・回答者数	【貸館】 ・受付にて利用者へアンケート実施 【図書】 ・受付にて利用者へアンケート実施	
	年齢	貸館 10代0%/20代0%/30代0%/40代9%/50代55%/60代9%/70代以上9% 図書室 10歳未満0%/10代0%/20代0%/30代6%/40代10%/50代13%/60代25%/70代以上46%	若年層のご利用が少ない結果となっているが、自習コーナーやフリースペースの利用は高校生大学生の利用が多くなっている。 貸館については例年通りの結果となった。
	施設・設備の充実度	貸館 満足73%/やや満足9%/やや不満0%/不満0% 図書室 満足43%/やや満足23%/普通29%/やや不満5%不満0%	貸館、図書室共に満足度が高く、不満を感じる方が少ない結果となった。
	施設の利用のしやすさ 貸館:施設の予約方法 図書:案内表示	貸館 満足27%/やや満足36%/やや不満0%/不満0% 図書室 満足40%/やや満足25%/普通31%/やや不満2%不満0%	貸館予約はWEB予約される方に続き、メール対応も多い傾向がある。 図書室の案内についても前年度の大きな表示に続き、小さい区分けの表示も増やしたため、満足度の上昇につながった。
	職員の対応・態度	貸館 満足55%/やや満足27%/やや不満0%/不満0% 図書室 満足71%/やや満足12%/普通15%/やや不満2%不満0%	両方ともに大きな不満の声もなく1年運営ができた結果になった。 「普通」や、「やや満足」と回答いただいたところを「満足」に変えられるようにしたい。
	利用料金 ※貸館のみ	貸館 満足45%/やや満足27%/やや不満9%/不満0%	1年通して料金に対するご意見はいただくが利用者の満足いただけている結果となった。
	利用時間	貸館 満足45%/やや満足9%/やや不満0%/不満0% 図書室 満足79%/やや満足6%/普通13%/やや不満2%/不満0%	前年度から図書室の開室時間の周知がさらに広まり、満足度の上昇につながった。

市民からの意見・要望等	主な意見・要望等	対応状況等(記載事項は守口市に連絡済です)
	1階の男子トイレが、時々用を足しているのが見えて目のやり場に困る	男性・女性トイレも換気等の理由で入口扉を開けています。扉を閉めきるかにつきましては検討中です。
	休憩スペースをもう少し作っておにぎり等を食べれるテーブルがあるといい	館内は原則飲食禁止となりますが、フリースペースでは可能としており、テーブル等も複数用意しております。お客様への周知に努めます。
	本のリクエストの要望	次年度にアンケートを実施予定

利用者満足度評価 コメント
全体的に満足度が高く、スタッフの対応についても前年度より良い結果となった。トイレについては、数や混雑についての意見はほとんどない結果となった。ただ、男子トイレについては中が見えるという意見が今年も見受けられたため引き続き改善を協議していきたい。次年度は、本のリクエストの要望など、いただいた意見を取り入れて積極的な解決に進み、満足度を上昇させられるように努めたい。

2 施設のサービス水準

(2) 収支状況の分析・評価

【収入の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	実績－予算	備考
委託料		70,450,000	70,450,000	0	
利用料金等	施設利用料	39,845,000	39,939,888	94,888	
	事業収入	8,074,000	7,893,556	-180,444	
	雑入	17,600	181,132	163,532	英会話教室光熱水費
収入合計		118,386,600	118,464,576	77,976	

【支出の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	予算－実績	備考
人件費	給与費	38,438,000	31,804,722	6,633,278	
	福利厚生費				
	法定福利費				
	賃金等				
事務費	印刷費	1,000,000	665,500	334,500	
	通信費	880,000	571,673	308,327	
	保険料	121,000	85,395	35,605	
	事務用品費	1,892,000	1,003,715	888,285	
	旅費交通費	0	0	0	
	賃借料	0	0	0	
管理費	業務委託費	33,054,000	27,387,016	5,666,984	
	光熱水費	15,349,000	13,676,674	1,672,326	
	修繕費	3,500,000	3,744,560	-244,560	
	燃料費	0	0	0	
物件費	備品購入費	0	0	0	
事業費	事業費	17,279,000	16,888,739	390,261	
公租公課	租税公課	2,627,000	2,388,600	238,400	事業所税含む
支出合計		114,140,000	98,216,594	15,923,406	

収支(実績ベース)

118,464,576	－	98,216,594	=	20,247,982
-------------	---	------------	---	------------

収支状況 コメント

収入:収入全体の合計が予算に対し約7万円上回る結果となり、昨年度の収入より約80万円増加する結果になった。昨年度に引き続きピアノレッスンバック事業を積極的に実施した。

支出:昨年度が正職員数が想定より少ない人員だったため、昨年度よりは増加したが、予算以内に収まる結果となった。空き部屋の照明や空調管理を徹底し水光熱削減に繋げた。

ただ、設備故障などの計画外の修繕費が発生したため、その支出が増えている。

最終的に支出は増えたものの予算内に収まり、収入が増えたため黒字となった。